

12 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表29)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
情報処理演習室	9	1,877.6	630	3.0	全学共通	D棟3F・FⅡ棟1F【再掲】
CAI教室	21	1,424.0	525	2.7	全学共通	D棟3F・FⅡ棟2F【再掲】
教育ラボ	1	232.2	65	3.6	CAP ※大学注1	BⅡ棟2F【再掲】
ICTラボ (BⅡ棟2F)	1	113.5	24	4.7	CAP	BⅡ棟2F【再掲】
ICTラボ (BⅡ棟3F)	6	131.5	36	3.7	CAP	BⅡ棟3F【再掲】
生物・化学実験室	1	70.2	24	2.9	CAP	D棟1F【再掲】
物理学実験室	1	70.2	24	2.9	CAP	D棟1F【再掲】
HLSラボ ※大学注2	7	168.0	42	4.0	CAP	F棟3F【再掲】
計	47	4,087.2	1,370	3.0		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「11 学部・研究科等ごとの講義室・演習室等の面積・規模」の講義室・演習室に含めても構いません。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

[大学注]

1 CAPとは、Crossover Advanced Programの略で、アジア太平洋学部と国際経営学部の学問領域を融合（クロスオーバー）させ、大学院への接続も視野に入れた、高度な研究内容を提供する学士課程プログラムのことである。該当施設は、アジア太平洋学部と国際経営学部の両学部生のうち、CAP学生が使用できる施設である。

2 HLSとは、健康・環境・生命インスティテュートの略。